

2026 年度 第 2 回理事会 議事録

日 時：2026 年 7 月 10 日（金）15:00～16:30

場 所：ハイブリッド会議（オンライン及びウイックあいち 1105 会議室）

出席者：23 名（理事 19 名、監事 1 名、来賓 1 名、事務局：専務理事 1 名、課長 1 名）

（会長）菊地義典 （副会長）加納孝樹、藤島忠康

（常務理事）植田昌克、井田斉昭（Web）、田口哲也、松原潤治、大久保利彦

（理事）菊地正人、岩崎真和（Web）、高橋丈助、飯田勝、萩原寛佳（Web）、小原敏治、
達俊彦、津井克巳（Web）、横山剛彦、前川直人

（幹事）宮西啓明

（来賓）経済産業省 製造産業局 産業機械課 係長 岩本久美 様

（事務局）専務理事 宇都木崇、矢島茂光

（欠席）田中文彦、松波崇宣、大石敬一郎、實角雅之、鬼頭泰夫（監事）

ご挨拶（菊地会長）

名古屋での理事会に大勢の皆さまに対面・web でご参加いただきましてありがとうございます。
経済産業省から岩本係長にご来賓としてご参加いただいております。ありがとうございます。

まず報告事項 1 点目としましては、元三菱重工 鍋倉様に歯車関連の技術資料をご寄贈いただき、事務局は手狭のため、長岡歯車製作所 加納社長にご協力いただきまして、同社の歯車資料館にて貴重な資料をお預かりすることとなりました。本日午前中に鍋倉様が顧問を務められている正法工業様に感謝状の贈呈に伺い、福井社長にお礼を申し上げてきました。後ほど寄贈いただいた資料をリストにして会員企業へ活用を呼び掛けたいと思っております。

2 点目は、先月、工業会イベントで台湾視察に行っていました。3 社見学し、台湾での産学連携組織についてご説明いただき、本日の資料でもお配りしております。

この組織は台湾産学総連盟の補助を受けて 2025 年の 2 月 1 日に発足したものです。国立地方大学の機械系 呉先生のもとで活動していますので、会員の皆様と共有しながら、連携できるところは連携していきたいと思っております。

今回は理事の皆さんに、台湾でのこの新しい動きを台湾視察の報告の一つとしてご紹介をしたいと考え資料を用意いたしました。本日も審議事項、協議事項でございます。皆さまのご意見をいただきたくご協力のほどよろしくお願い致します。

議 事

定款第 37 条に則り理事会決議を行った。同様に定款第 39 条に基づき、菊地会長、宮西監事を議事録署名人に選任した。

議 題

1. 審議・承認事項

- 1) 株式会社イワサテック解散に伴う退会届並びに
辻社長の常務理事・理事職辞職届の件（資料 No. 1&2）
- 2) SNS（X）導入に関する規定の件（資料 3&4）
- 3) 新規正会員入会承認の件：株式会社ナカニシ（資料 No. 5）

2. 協議事項：海外法人並びに研究機関からのアプローチ
 - 1) インド：コンサル会社、CRESCEND® WORLDWIDE
 - 2) ブラジル：産学共同体 ITA
3. 報告事項
 - 1) 2026 年度各委員会実施事項&計画（各委員長）
 - 2) U.S. Gear Tour 2026 について
 - 3) 景況報告：株式会社神崎高級工機製作所、飯田専務
：協育歯車工業株式会社、井田社長
 - 4) 事務局人事の件、その他
 - 5) 経済産業省、産業機械課 岩本係長より

議 題 / 決定・検討事項

1. 審議・承認事項

- 1) 株式会社イワサテック解散に伴う退会届並びに
辻社長の常務理事・理事職辞職届の件（資料 No. 1&2）
宇都木専務理事より説明を行い、賛成多数により承認された
【補足】
6 月末日付で会員会社は解散、標準化委員会の委員長職は委員会規定において、委員長は会長の委嘱となっており、今期の任期終了まで継続いただけることになっている。
- 2) SNS (X) 導入に関する規定の件（資料 3&4）
井田委員長より説明を行い、賛成多数により承認された。
【補足】
規程は承認いただき、運用に関しては目的の明確化、投稿頻度、継続性、方向性など、よりよい発信となるように進めていく。（初回投稿で明確化）
- 3) 新規正会員入会承認の件：株式会社ナカニシ（資料 No. 5）
菊地会長からも推薦、宇都木専務理事より説明を行い、賛成多数により承認された。

2. 協議事項：海外法人並びに研究機関からのアプローチ

- 1) インド：コンサル会社、CRESCEND® WORLDWIDE
- 2) ブラジル：産学共同体 ITA

宇都木専務理事より説明を行い、インドコンサル会社から指名のあった 2 社から状況報告をいただいた。植田委員長、宇都木専務理事から、事務局の姿勢としては今後もコンタクトがあった場合は皆さまに報告、相談しながら進めていく。

3. 報告事項

- 1) 2026 年度各委員会実施事項&計画（各委員長）

海外調査対応委員会：6 月の台湾視察について植田委員長より報告いただいた。台湾視察は三年前に遡り、2024JIMTOF のタイミングで台湾から来日されたが、来年も来日したいとのリクエストがあったため、検討していきたいと考えている。

経営研修会：6 月のアスカ工業視察について藤島委員長より報告いただいた。詳細な見学は難しいと想定していたが、非常にオープンに見学させていただいた。各設備にはオペレーターが配置され、参加者は気になる点を直接オペレーターへ質問できる方式が採用され

た。オペレーターが現場で直接説明できることは、十分な知識と技術を備えていることの表れでもあり、同社の技術力に対する強い自信を感じさせるものであった。全体として学びが多く、参加者にとって大きな刺激となる研究会であった。次回は10月に大橋機産（福島県）を予定している。

ギヤカレッジ企画運営委員会：事務局 矢島より、26年度ギヤカレッジが5月末に開講した。マスターコースは定員30名に対して44名の応募があり、選外の方から4名がプロフェッショナルコースへ移行し、同コースの参加者数は19名とほぼ満員の状況となった。今年度の傾向としては、前年にマスターコースを受講した5名が引き続きプロフェッショナルコースへ移行した点と、マスターコース30名のうち3名が女性が占めていることが挙げられる。

ギヤカレッジフォローアップ委員会：加納委員長より報告いただいた。次回の研修会について報告。9月3日に機械振興会館において、出光興産 慈道様より「歯車にまつわるオイル」に関する基調講演をいただく予定である。基調講演後には参加者によるディスカッションを実施する。また、今回は木曜日開催に加え、翌金曜日の午前中には千葉県姉ヶ崎市に所在する同社 営業研究所の見学を行う。これにより1日半にわたるプログラム構成となっている。ギヤカレッジ修了生に対して案内を行う予定であり、出光興産の研究所を見学できる機会は非常に貴重であることから、積極的な参加を期待している。

広報委員会：松原委員長より報告いただいた。7月末の発行に向けて進めている26年夏号について、寄稿いただいた皆さまにおかれましてはありがとうございました。次回の春号（27年3月発行予定）については、他団体の機関誌をベンチマークとし、面白い記事を準備したいと考えている。皆さまに記事をお願いするかとと思いますが、その際はご協力よろしく申し上げます。

技術研修会：田口委員長より報告いただいた。すでに案内済みですが、8/28(金)に鳥取大学を訪問し、研究紹介や見学を行う。対応いただくのは同行 本宮准教授です。その後は12月に機械振興会館にて講演会を検討しています。人選は決まり次第ご連絡します。

若手経営者研究会：大久保委員長より報告いただいた。昨日7/9(木)にウインクあいちにて開催した。議論から実行へというテーマを掲げ、これまで整理してきた収益・人材・技術の三つの課題について、具体的な活動を落とし込む議論を行った。収益では価格転嫁の事例紹介で弊社とさらに浅野歯車工作所様にお願いし、実際どう取り組んでいるのか、経営者の皆さんに共有できたことは実のあることだと考えている。次に、ギヤカレッジの超初級講座を設定しなければ、現状のギヤカレッジでは1回目から難しくてわからないという声が会員企業からあることから超初級講座の検討と、さらには会員企業の社員モチベーションを上げる施策を各チームから提案・議論を深めていただき発表されました。次回は11/5(木)に日下歯車製作所様にて開催予定。

標準化委員会：宇都木専務理事より報告いただいた。本委員会 委員長は引き続き辻委員長にお願いすることになっている。第1回 標準化委員会は6/20(月)に実施。当日は第2回計測分科会も開催している。分科会に関しては日本から提案提出ができるよう、あと

3 回ほど実施予定。通常の第 1 回標準化委員会は委員長が不在となったが、ISO 国際会議での報告を行った。次回、第 2 回 標準化委員会は 11 月上旬もしくは 12 月に実施予定。

2) U.S. Gear Tour 2026 について

本日の常務委員会において、内容・質が重要というご意見をいただきました。去年のユーロ ギア ツアーに匹敵するようなもっと内容の濃い企画をとということであらためて再検討し、金額も含めて早々に報告する。

3) 景況報告：2 社の理事に報告いただいた

A 社

売上の約 8 割が海外向けで、円安の恩恵は受けている。ただし、円高時代から取引先と為替シェアリングをしており、円安が進みすぎると差額を返す必要がある状況。日本メーカーの設備投資は停滞、投資する場合も 海外拠点（特に中国）向けが中心。原材料（石油・シンナー等）の輸入遅延でリードタイムが 1 か月延び、納期遅延による失注が散見される。関税ではアメリカメーカーとの取引では、月ずれや調整で持ち出しが発生。アメリカのグループ会社では専用機に限り免税措置があり、HTS コードを使って申請している。トランプ氏の裁判敗北により、関税還付の申請窓口が開いたが、還付があったのは 1 社で約 10%のみ。他社は処理が遅く還付まで時間がかかっている。

アメリカ市場ではコロナ特需後に在庫が積み上がり、昨年・一昨年は低迷。今年はフォーキャストは上向きだったが実際の販売は伸びず在庫が残っている。毎月 2~3%ずつ下方修正している。内定時期が早まり学生がその後大手へ再チャレンジする傾向が強い。内定承諾後でもメール一本で辞退されるケースが増加。そのため採用活動を改めて強化している。

B 社

2025 年度の決算状況は 2024 年度比で売上はほぼ横ばい。2026 年度の見通しは半導体関連の受注が毎月右肩上がりで増加中。2026 年度は 前年比 10%増の売上を見込んで計画をスタート。半導体顧客は 20~30%増産と強気だが、他部品の長納期化で実際の発注はそこまで伸びない見込み。そのため、会社としては 10%増程度が妥当と判断。

売上構成の約 9 割がモジュール 1 以下の小型歯車。カタログではモジュール 0.3~3 まであるが、実際の需要は小型が圧倒的。

最近のトレンドとしてはロボットハンド向け極小ギア（モジュール 0.2~0.3、歯数十数枚、穴径 2mm）といった極小ギアの引き合いが急増。海外からも同様の問い合わせが増えており、ロボットハンド向けギアがホットな市場になっている。

材料価格の高騰と価格改定では小型ギアは 真鍮・樹脂の使用が多く 2022 年の値上げ以降カタログ定価はずっと据え置きだったため。年内にカタログ品の定価改定（値上げ）を予定しており、現在対外的にも少しずつ案内を開始している。

4) 事務局人事の件、その他

今年度 10 月 1 日より、事務局にフルタイムスタッフ 1 名を迎える予定ですが、現在在職中につき、議事録では詳細の記載は控えさせていただきます。

5) 経済産業省 最近の政策動向について

産業機械課 岩本係長より、提供いただいた資料を基にご説明

資 料

【資料 No. 1&2】 イワサテック解散に伴う退会届並びに辻社長の常務理事・理事職辞職届

【資料 No. 3&4】 SNS (X) 導入に関する規定 (案)

【資料 No. 5】 新規正会員入会承認の件：株式会社ナカニシ

経産省資料_最近の政策動向について

以 上

2026 年 7 月 10 日

一般社団法人 日本歯車工業会

会長 菊地 義典



一般社団法人 日本歯車工業会

監事 宮西 啓明

